

平成29年度補正

太陽ニット 株式会社

〈事業計画名〉ハイゲージ編立機の導入による薄手の医療用着圧ソックスの試作開発



医療機関との連携による製品開発 日本人に適応した医療用着圧ソックス

事業の背景

医療用着圧ソックスの問題点

靴下は目的によって様々な種類がある。医療分野においては、血栓・リンパ浮腫予防を目的とした「医療用着圧ソックス(弾性ソックス)」というものがあるが、現在国内で流通している弾性ソックスは輸入品が大半を占めており、日本人の体形に合ったサイズと圧力の製品が少ない上に価格が高く、患者にとって経済的負担が大きいという問題点があった。

当社は、約20年前より足の疲れ・むくみの解消を目的とした「着圧ソックス」を一般消費者と医療従事者向けに展開しており、生産技術・ノウハウは十分に蓄積している。「国内メーカーとして、日本人に合ったサイズをリーズナブルな価格で」という思いの元、平成29年より康仁会西の京病院血管外科センター長の今井崇裕医師と連携し、弾性ソックスの開発を開始した。

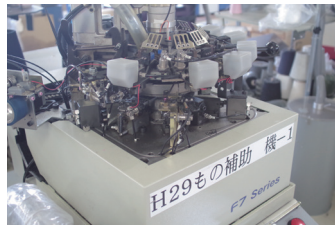
着用時の圧迫圧に関する技術は問題無かったが、要求される生地 thickness の薄さが最大の課題であり、別注糸を使用しても現有の編機では限界を超える薄さであった為、本事業において、より薄い生地の製造が可能なハイゲージ編機の導入を計画した。

事業の成果

国産弾性ソックスの完成

弾性ソックスは、一般的な着圧ソックスと同様に圧迫する為のゴム糸を使用しながら、ストッキング状の薄い生地を要求される。標準のハイゲージ編機ではゴムの伸縮性に耐え切れず、また生産可能な生地の薄さも限界がある為、別注のハイゲージ編機と、爪先縫製専用のロストミシンを導入。

これにより、医療機関の要求を満たす仕様の弾性ソックスを完成させることができ、量産体制の構築、事業化の目処が立った。販路については、医療機関の既存納入業者との競合や製造販売に許可が必要となる等、課題がいくつか残っており、医療機関以外の販路も含めて鋭意模索中である。



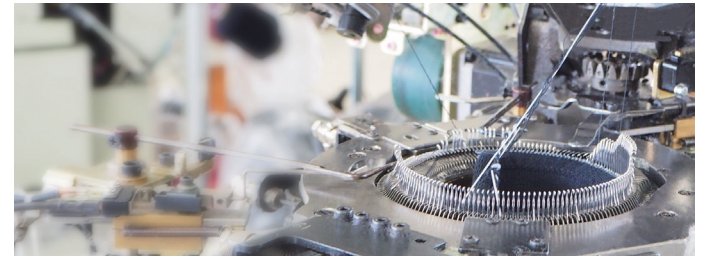
太陽ニット株式会社の概要

知的所有権約100件に至る開発力と技術力

当社は日本全国の50%以上の生産量を誇る靴下産地である奈良県において昭和43年に創業し、以来50年以上一貫して靴下および関連製品の開発、製造、販売を生業としている。

創業当初より「付加価値の高い他社が真似できない製品」をモットーに独自製品の開発を続け、知的所有権(特許権・意匠権・商標権)は約100件を保有。

企画・生産・出荷まで全ての工程が自社内一貫体制であり、100%自社ブランド製品として事業展開を行っている。小ロット対応はもちろん、クイックデリバリーなど小回りの利く事業体制で、取引先各社からも厚い信頼を得ている。



太陽ニット株式会社の企業活動

奈良県の地場産業である靴下業界の認知向上

奈良県では明治期より地場産業として靴下生産が発展しており、国内生産量の約半数は奈良県内での生産である。

しかし、OEM生産等では具体的な産地が表記されず、一般消費者には「奈良県産」「奈良県が国内最大の靴下産地」という認知は殆どされていない。

そこで、奈良県の地場産業である靴下産業を知ってもらう為、平成17年に「奈良のくつした」ロゴマークを設定。自社製品への掲示はもちろん、展示会やSNSなどで「奈良のくつした」をアピールし、奈良県の靴下業界全体の認知度アップを狙っている。

太陽ニット株式会社の製品紹介(抜粋)

30年超のロングセラー「かかとツルツル靴下」/立ち仕事に「美脚着圧ソックス」

主力商品である「かかとツルツル靴下」を中心に、医療従事者などの立ち仕事向けの「美脚着圧ソックス」、かかとツルツル靴下のナイトケア版「かかとツルツル物語」、ストッキング・タイツとも違う透け感の「シースルーソックス」、「5本指フットカバー」等、全て意匠登録済みの自社オリジナル製品として展開している。



太陽ニット 株式会社

業 種 分 類 繊維工業

事 業 内 容 靴下、サポーター等の企画・製造、販売

代 表 者 名 代表取締役 岡橋 洋治

所 在 地 奈良県橿原市大垣町98-1

連 絡 先 TEL:0744-22-0909/FAX:0744-22-7809

ホームページ <https://taiyou-nitto.jp/>

E - M A I L info@taiyou-nitto.jp